

中国での強制臓器収奪に関する独立民衆法廷への提出物

氏名：ジョージ・カリミ

(男性—法輪功学習者でもウイグル人でもない)

所見

2018年10月15日

2003年10月9日、中国、北京の留置所に連行されました。最初は理由を明かされませんでした。私の友人に問題があり、彼らが私にいくつか質問する必要があると言われました。33か37日後、逮捕を拒んだという通知を受け取りました。北京の留置所に拘留されました。同じ日に拘留された友人のミラップはひどい拷問を受けました。私は留置所の尋問室によく連れられ、椅子に何時間も鎖で縛り付けられたので、近くの部屋にいるミラップの叫ぶ声をなんども聞きました。警官が書いた文書に強制的に署名をさせられました。私がアメリカの通貨を偽造したというものでした。逮捕から7ヶ月後、まだ留置所にいましたが、私はアメリカの通貨を偽造したので拘留されていたと知らされました。ミラップは数ヶ月後に釈放されました。彼はインドに戻り、インド当局がビデオを作成しました。ミラップは中国の留置所でAIDSに感染し、とても衰弱し、死ぬと思っていました。自己の良心から、この偽の文書が私に対して悪い影響を及ぼさないように、インド当局がビデオを作成するように手配しました。中国の警官から拷問を受け、ID52416Bが通貨を偽造したと強制的に言われたという宣誓供述をしたのです。彼の声明は、偽造は一切なく、告発は偽であるというものでした。2006年、私はまだ留置所にいました。アメリカの通貨を偽造した罪で終身刑を受けていました。法廷の書類では、警官が押収した、自分の小さな白黒プリンターを使って通貨を偽造したことにしていました。北京の#2 刑務所で4年間、刑期を勤めた後、最初の外国人収監者として国外に転所しました。私の母国であるスウェーデンに転所し、2015年まで刑期を勤め、最終的に釈放されました。スウェーデン政府の代表者に私が無実であることを知ってもらおうと思い、全ての告発に対して激しく自己弁護しました。中国の司法制度では家族に会いたいとか転所を申請している場合、自己弁護なくすべての告発を受け入れなければならないのです。

中国での留置所では、処刑される者はすべて1階にいました。一般に、朝5時に処刑されるものは連れ出されました。警官が朝5時に連れ出すと教えてくれました。夜の11時か12時過ぎになると、叫び出す囚人がいました。この叫びから、彼らが朝、処刑されることが分かりました。囚人の一人を見たことがあります。床に横たわったまま引っ張られていました。彼の叫びと表情は忘れることができません。もう一人の囚人が引っ張っていることに、もっとも動揺しました。彼は鎖に繋がれ、手錠と足枷をかけられていました。7キロあると

言われました。囚人の一人が彼を仰向けにしたまま引っ張っていたのです。私の台湾人の通訳者は翌日に処刑される所々でした。処刑される建物は、留置所とは別の建物でした。その建物で毛沢東の妻が首を吊ったそうです。別の中国人の囚人が私に指摘してくれました。シャワー室から見えました。

短期間、中共の高官と監房を共にしました。その後、彼は処刑されました。私たちが話している時、彼は言いました。時折、中国共産党の党員が処刑を見るために送り込まれると。理由は、将来、裏切ることがあったら、どうなるかを彼らに見せしめるためです。恐怖心を植えつけます。どこでそのような処刑を見たのか尋ねたら、裁判所の下だと言われました。もう一人の中国人の囚人が言ったことと同じでした。

監獄では、囚人は臓器狩りのことを話していました。実によくあることでしたが、監獄の役人は語りませんでした。監獄に入れられた政府の役人は話しました。臓器狩りについては主に留置所で話されました。

2004年7月1日頃、北京の別の留置所に転所されました。私を管理する役人は二つ星をつけていました。名前は覚えていません。私の監房の責任者で、他に2～3の監房も管理していました。英語は話さなかったため、台湾からの囚人が私に同伴し、通訳してくれました。2005年4月から2006年5月か6月の間のことです。看守が、シエラレオネの囚人を同室の囚人たちに叩き殺させた後のことです。その後、彼がどうなったか分かりません。内臓出血で亡くなったということです。この時期、週に1～2回、囚人と話すことは禁じられていたにも関わらず、この監房の管理者は私と会って話しました。台湾の囚人も同伴し通訳してくれました。その時、臓器収奪に関して5～6回話しました。「所詮彼らは犯罪者で、処刑された後、臓器は必要ないのだから、構わないだろう」と彼は語りました。ある時は次のように語りました。「処刑された囚人の遺体は焼却される。家族が受け取るのは遺灰だけだ。だから臓器を摘出してもしなくても関係ない。囚人は処刑される。臓器の使い道はない。だから臓器を収奪して他の者のために使ったほうがいい」

別の時にはこのように語りました。「最近24か25名の法輪功メンバーが処刑された。しかし一人は病気だったので処刑されなかった」。なぜ処刑されなかったのかと尋ねたら、誇らしげに説明してくれました。「病気だったら臓器は使えないじゃないか」

有罪宣告がなければ本人は無実です。しかし、中国の留置所と法廷の書類では「犯罪者」と記されます。有罪宣告なしでどうして犯罪者と呼べるのでしょうか？監獄の役人は、我々に個人的に罰を与えていました。楽しんでいました。法輪功学習者に対しては、2倍も3倍もひどいことをしていました。